

科目名	臨床関係総論 1						年度	2026	
英語科目名	General Clinical Medicine 1						学期	前期	
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大下裕之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 臨床の現場で遭遇することが多い疾患について、解剖学・生理学・病理学などで学んだ内容を振り返りながら、疾病の成り立ちからさまざまな症状や所見について病態が理解できることを目的とする。									
【科目の概要】 解剖学、生理学、病理学、臨床医学各論などの知識を基に医療従事者に必要不可欠な総合力を身につけます。									
【到達目標】 A. 消化器疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 B. 循環器疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 C. 呼吸器疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 D. 腎泌尿器疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 E. 血液疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。									
【授業の注意点】 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 解剖学・生理学・病理学・臨床医学各論の授業ノート、教科書などを準備すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	消化器疾患について、病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	消化器疾患について、ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	消化器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	消化器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	消化器疾患について病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。				
到達目標 B	循環器疾患について、病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	循環器疾患について、ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	循環器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	循環器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	循環器疾患について病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。				
到達目標 C	呼吸器疾患について、病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	呼吸器疾患について、ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	呼吸器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	呼吸器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	呼吸器疾患について病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。				
到達目標 D	腎泌尿器疾患について、病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	腎泌尿器疾患について、ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	腎泌尿器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	腎泌尿器疾患について病態理解は出来ないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	腎泌尿器疾患について病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。				
到達目標 E	血液疾患について、病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	血液疾患について、ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	血液疾患について病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	血液疾患について病態理解は出来ないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	血液疾患について病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。				
【教科書】 臨床医学各論（医歯薬出版社）									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 中間試験・期末試験で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		臨床関係総論 1			年度	2026
英語表記		General Clinical Medicine 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	消化器疾患	消化器疾患を理解する	1 食道疾患	食道疾患について理解している	1	
			2 胃十二指腸疾患	胃十二指腸疾患について理解している		
2			1 腸疾患	腸疾患について理解している	1	
			2 腹膜疾患	腹膜疾患について理解している		
3	肝胆膵疾患	肝胆膵疾患を理解する。	1 肝臓疾患	肝臓疾患について理解している	1	
			2 胆道系疾患	胆道・胆嚢疾患について理解している		
			3 膵臓疾患	膵臓疾患について理解している		
4	呼吸器疾患	呼吸器疾患を理解する。	1 感染性疾患	感染性呼吸器疾患について理解している	1	
			2 閉塞性肺疾患	閉塞性肺疾患について理解している		
			3 拘束性肺疾患	拘束性肺疾患について理解している		
5			1 腫瘍性疾患	腫瘍性肺疾患について理解している	1	
			2 その他の肺疾患	その他の肺疾患について理解している		
6	泌尿器疾患	泌尿器疾患を理解する。	1 腎不全	腎不全について理解している	1	
			2 糸球体疾患	糸球体疾患について理解している		
			3 尿路感染症	尿路感染症について理解している		
7			1 尿路結石	尿路結石について理解している	1	
			2 腫瘍性疾患	尿路の腫瘍性疾患について理解している		
			3 前立腺疾患	前立腺疾患について理解している		
8	血液疾患	血液疾患を理解する。	1 貧血症	貧血症について理解している	1	
			2 白血病	白血病について理解している		
			3 出血性疾患	出血性疾患について理解している		
9	代謝疾患	代謝疾患を理解する。	1 糖尿病	糖尿病について理解している	1	
			2 痛風	痛風について理解している		
			3 脂質異常症	脂質異常症について理解している		
10	内分泌疾患	内分泌疾患を理解する。	1 下垂体疾患	下垂体疾患について理解している	1	
			2 甲状腺疾患	甲状腺疾患について理解している		
11			1 副腎皮質疾患	副腎皮質疾患について理解している	1	
			2 副腎髄質疾患	副腎髄質疾患について理解している		
12	循環器疾患	循環器疾患を理解する。	1 心不全	心不全について理解している	1	
			2 心膜疾患	心膜疾患について理解している		
			3 心臓弁膜症	心臓弁膜症について理解している		
13			1 虚血性心疾患	虚血性心疾患について理解している	1	
			2 動脈疾患	動脈疾患について理解している		
			3 静脈疾患	静脈疾患について理解している		
14	膠原病	膠原病を理解する。	1 リウマチ性疾患	リウマチ性疾患について理解している	1	
			2 全身性エリテマトーデス	全身性エリテマトーデスについて理解している		
			3 皮膚筋炎	皮膚筋炎について理解している		
15			1 全身性硬化症	全身性硬化症について理解している	1	
			2 ベーチェット病	ベーチェット病について理解している		
			3 多発性動脈炎	多発性動脈炎について理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等